

第10次 さがみはら 地域福祉活動計画

令和6年度(2024年度)～令和11年度(2029年度)**概要版**

一人ひとりが活躍できる 多様な縁づくり



地域福祉活動計画ってなあに？

「地域福祉活動計画」は、**地域のみんなが取り組む行動計画**です。地域にある様々な福祉課題を自分たちの問題としてとらえて、地域住民を中心として多様な団体や専門相談機関等がお互いに協力し合い、課題の解決に向けて支えあい活動に取り組み、“誰もが地域でいきいきと暮らせるまちづくり”を進めるための計画として策定するものです。

地域

住民

地域
団体

関係
機関

福祉
施設

企業

基本理念

みんなで支えあい 地域の力が育む 人にやさしいまち さがみはら

性別や年齢、障がいの有無にかかわらず、人と人、人と地域がつながり、一人ひとりがいきいきと活躍できる地域共生社会の実現に向けた地域づくりを目指します。

行政
計画

相模原市
地域共生社会推進計画
(地域福祉計画)

- ・基本的な方向性
- ・施策を展開する
上の基本事項

基本目標

関係
づくり
体制
づくり
人材
づくり

民間
計画

さがみはら
地域福祉活動計画

- ・活動・行動計画
- ・施策を具現化す
るための取組

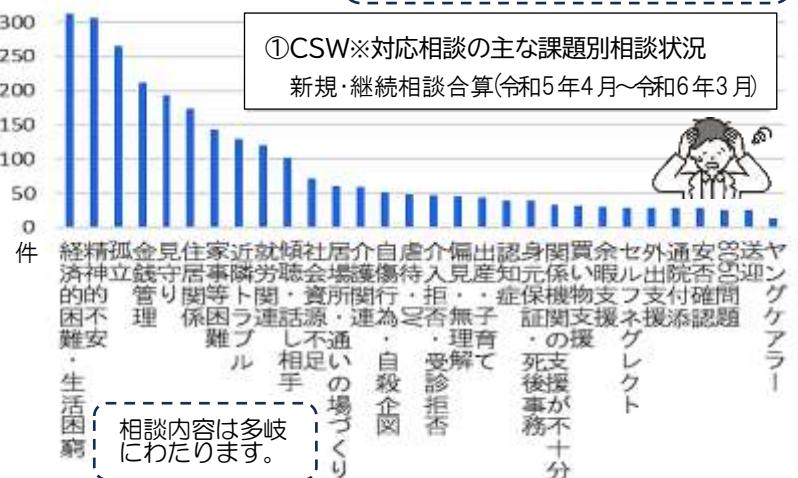
※「相模原市地域共生社会推進計画（地域福祉計画）」と基本理念、基本目標を同一として、共有、連携を図りながら相模原市の地域福祉を一体的に推進する計画としていきます。

地域にはどんな課題があるのでしょうか？

① 「困りごと」の多様化

様々な理由で「困りごと」や「生きづらさ」を抱え社会的な孤立が深刻になってきました。(単身世帯、ひきこもりの増加や、高齢者・障がい者・児童などの複数の福祉分野をまたがる問題を抱える世帯が増加しています。)

深刻になる前に早く相談先につながるといいね。
近所の人が気にかけてあげられるといいな。。。



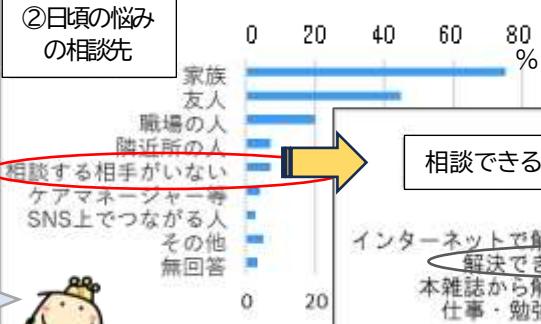
※CSW:コミュニティソーシャルワーカー

② 潜在化する困りごと

地域の中でつながりの機会が減り、「困りごと」「生きづらさ」を抱えている人たちの把握が難しくなっています。

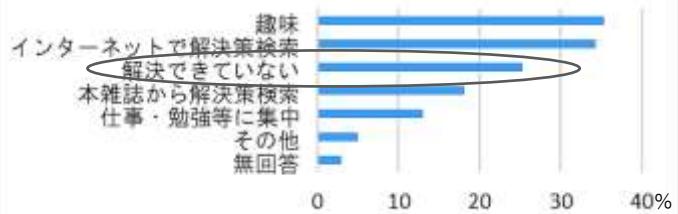
普段から相談できる人がいること、居心地のいい場が身近にあることが大切だね！

②日頃の悩みの相談先



②・③「地域福祉計画及び地域福祉活動計画の策定にかかるアンケート調査」より
対象:市民 回答数:1,443人
(令和5年3月 実施:相模原市)

相談できる相手がない場合の解決方法



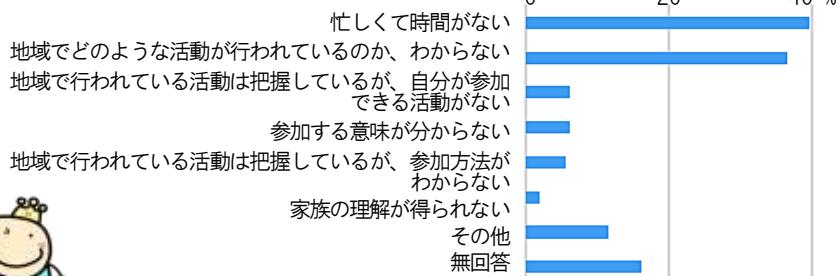
③ 地域の担い手の不足

自治会加入率の低下、共働き、再就職などライフスタイルの変化などにより、地域活動を支えてきた担い手が減少したことから、地域で支えあう力が弱まっています。

学生や若者からは「友達と一緒になら」「特技や趣味を生かせるなら」活動したいとの声があるよ。

これからの担い手に、子ども・若者・福祉施設・企業に期待したいね。

③地域の「支えあい・助けあい」活動に参加できない理由(複数回答)



地域活動の情報発信や参加の工夫が必要なかもしれません。

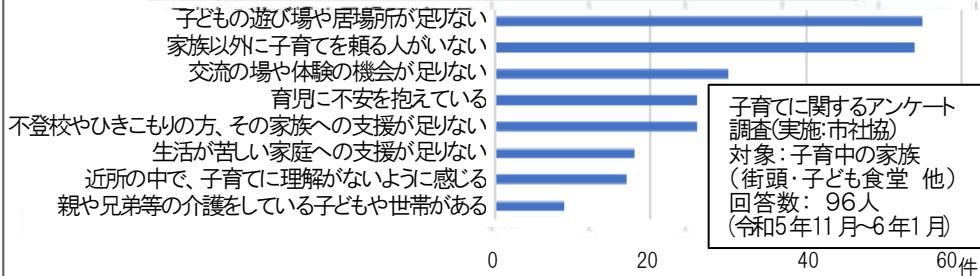
④ 子どもを取り巻く環境と社会問題

少子化、共働き家庭の増加等、環境がますます変化していく中、育児不安や引きこもりの問題も深刻化しています。

また、家庭や学校以外の人とつながる機会や子どもの人間形成を促すような体験の機会が減少しています。

地域の人のつながりで子どもたちの居場所や様々な体験の機会があると、子どもやその家族の支えになれるね。また将来の地域の支え手にもなるかもしれないね。

④自分・周りの人が感じる「子育ての困りごと」は何か



子育てに関するアンケート調査(実施:市社協)
対象:子育中の家族(街頭・子ども食堂他)
回答数: 96人
(令和5年11月～6年1月)



第10次さがみはら地域福祉活動計画

めざす地域像



基本理念 みんなで支えあい 地域の力が育む 人にやさしいまち さがみはら

基本目標1 見守り、支えあう

【関係づくり】 あんしんできる縁づくり

身近な地域で、相談しやすく居心地のいい場所やつながりの機会が増えることにより、安心した生活が送れることを目指します。



居心地のいい場を増やす



困りごとを発見・共有



地域や福祉の情報が行き交う

基本目標2 誰もが生きがいを持って

【人材づくり】 活躍できる縁づくり

「支え手」「受け手」を超えた参加の機会を広げる視点を持って、活動に関心を持てるよう新たな人材発掘のためのきっかけづくりを目指します。



地域への関心を高める



地域で活躍する人を増やす



地域の取組を応援

スローガン

一人ひとりが活躍できる
多様な縁づくり

薄れていく地域のつながりを回復させていくために、人と人、人と地域が多様なかたちでつながり、誰もが生き生きと活躍できる地域をめざします。

重点的な視点

子どもの頃から地域との縁をつくる

家庭や学校以外の居場所づくりや、地域の中で様々な体験ができる機会づくりを進め子どもの「孤立」「孤独」の予防につなげます。また将来を見据えて子ども・若者が地域に参加できるような取組や工夫を進めていくことを目指します。

基本目標3 人と人、人と地域が

【体制づくり】 つながる縁づくり

多様な人材の発掘や様々な活動に結びつけるためのコーディネート力を向上させていくこと、地域の取組情報や人材・社会資源の把握、情報共有等を図ることを目指します。



コーディネート力を高める



地域の社会資源を活用

写真で活動を見てみよう(参考事例)

基本目標1 見守り、支えあう

【関係づくり】**あんしん**できる縁づくり

居心地のいい
場を増やす

~孤立・孤独を防ぐ
いろいろなかたち~

居心地のいい交流の場



いこいの広場
(星が丘地区社協)

畠でつながる仲間づくり

ひきこもりの方や認知症の方、福祉施設を利用する方などが、地域の方との交流を深めています。
しろやまふれあい農園
(城山地区社協)



困りごとを
発見・共有



地域とつながるきっかけづくり



こんにちは赤ちゃん！
さがみこ“ぬくもり”支援事業
(相模湖地区社協)

地域や福祉の
情報が行き交う

SNS を活用して…



普段の交流から…



ブログ
親子スペース たけのこの家
(大野北地区社協)

いこいの広場 木曜喫茶
(東林地区社協)

基本目標2 誰もが生きがいを持って

【人材づくり】 活躍できる縁づくり

地域への関心
を高める

学校福祉教育に地域団体や
住民が協力



地区社協や地区的民生委員・児童
委員が学校の福祉教育に協力
(大島小学校 高齢者疑似体験)

地域で活躍す
る人を増やす

障がい者の社会参加、活躍の場



得意な「けん玉」を子どもたちに教えて
います。(第3けやき)

地域の取組
を応援

法人が住民の買い物
移動支援をサポート



バス停までの歩行が困難な高齢者を対
象に、あさみぞハウス(社会福祉法人喜楽会)、
リツチフィールド(社会福祉法人慈母会)の協力
により、スーパーまで送迎をしています。
(麻溝地区移動支援古山台クラブ)

基本目標3 人と人、人と地域が

【体制づくり】 つながる縁づくり

コーディネート
力を高める



コーディネーター会議で利用者の状況
やボランティア対応を検討しています。
(城山助けあい支えあいセンター)

地域の社会
資源を活用

蕎麦屋さんが交流の場に



交流の場 和い輪い田名
(田名地区社協)

web サイトさがみはらみんなの
地域情報ナビ
～みんなで地域をつくろう～



「第10次さがみはら地域福祉
活動計画」の冊子は相模原
市社会福祉協議会ホームページ
に掲載されています。



【本件に関するお問い合わせ】

社会福祉法人相模原市社会福祉協議会 総務課 企画財政係

電話:042-730-3888 ファックス:042-759-4382

メールアドレス:soumu@sagamiharashishakyo.or.jp